



OLYMPIAN

オリンピック

[いよいよ7月開幕]

ロンドンオリンピックで実施
全26競技の見どころ紹介!

[OLYMPIANスペシャルインタビュー]

石川佳純

「オリンピックは夢の舞台。
どこまで頑張れるか
楽しみです」

勝負のロンドン がんばれ! ニッポン!

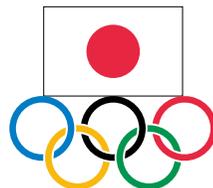
[OLYMPIANスペシャルインタビュー]

丹羽孝希

「中学校時代に頑張ったから
いまの僕がある」

OLYMPIAN

CONTENTS



COVER PHOTO/AFLO、BBM

OLYMPIAN

平成24年3月14日発行
発行/公益財団法人
日本オリンピック委員会

〒150-8050
東京都渋谷区神南1-1-1
岸記念体育館内
TEL 03-3481-2238
FAX 03-3481-2292

©JAPANESE OLYMPIC COMMITTEE
無断転載を禁じます

URL <http://www.joc.or.jp>

■「OLYMPIAN」とは?

日本オリンピック委員会(JOC)では、オリンピック・ムーブメント(P.19参照)の推進を目的に、オリンピック競技大会やオリンピックに関連する情報の提供として、広報誌「OLYMPIAN」(オリンピック)を年1回発行しています。2011年度は中学生の皆さんを対象に発行することになりました。ぜひ本誌を読んで、オリンピックやスポーツの楽しさを知り、オリンピック・ムーブメントへの理解を深めてください。

巻頭特集 Road to London

03 7月に開幕! ロンドンオリンピック
OLYMPIAN スペシャルインタビュー

04 **石川佳純**

「オリンピックは夢の舞台。どこまで頑張れるか楽しみです」

06 **丹羽孝希**

「中学校時代に頑張ったからいまの僕がある」

08 ロンドンオリンピックでの活躍に期待! 注目の選手たち

男子・水谷隼、岸川聖也

女子・福原愛、平野早矢香 ほか

10 **日本卓球 栄光の歴史**

13人の世界チャンピオンを生んだ黄金時代があった

11 **ロンドンオリンピックで行われる全26競技**

17 **ようこそ、ロンドンへ!**

オリンピック開催を待つロンドン現地情報

18 知ってる? 知らない?

オリンピックなんでもQ&A

☆知っておきたい! 基礎知識編

オリンピックは誰が始めた? / どうして4年ごとの開催なの? ほか

21 ☆オリンピックと日本編

日本人最初のIOC委員はだれ? / 日本でオリンピックが開催された都市はどこ? ほか

22 **2020年オリンピック・パラリンピックに東京が立候補**

インタビュー・水野正人 [東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会副理事長/専務理事]

26 **オリンピックからの応援メッセージ**

室伏広治/潮田玲子/浜口京子/太田雄貴/福原愛

27 **JOCはこんな活動をしています**

28 中学生記者が

味の素ナショナルトレーニングセンターを探検!

32 **JOCエリートアカデミー**

33 **JOCの活動&イベント紹介**

34 **東日本大震災復興支援JOC「がんばれ! ニッポン!」プロジェクト**

スポーツから生まれる、笑顔がある。



巻頭特集

Road to London

ロンドンオリンピックの開幕が迫ってきました。7月末の開幕まで5カ月を切り、出場権を巡る戦いもヒートアップしています。ここでは、オリンピックの舞台で活躍を目指す日本のトップアスリート2人をクローズアップ。加えて国内外の注目選手を紹介します。さらに卓球競技の歴史も解説。これを読めば、ロンドンオリンピックの卓球競技観戦がグッと興味深くなること間違いなしです。

- トップ選手が語る
中学時代とロンドンオリンピック
石川佳純選手
丹羽孝希選手
- ロンドンオリンピック注目選手紹介
- 日本卓球 栄光の歴史

ロンドンオリンピック大会概要

- 大会名 / 第30回オリンピック競技大会 (2012 / ロンドン)
- 開催地 / イギリス・ロンドン他
- 期間 / 2012年7月27日～8月12日 (17日間)
- 実施競技・種目 / 26競技 302種目



石川佳純

オリンピックピックは夢の舞台。どごまで頑張れるか楽しみです

Text / 佐藤温夏 Photo / 高原由佳(インタビュー)・A.P

石川選手にとって初めてのオリンピックとなるロンドン大会開幕まで約4カ月と迫っています。どのように過ごしていきたいと考えていますか。

石川 自分の納得いく準備をしたいと思っています。今は自分がどれくらい強くなるか、頑張れるかが楽しみです。オリンピックでは、強豪選手に対し、自分がどれくらいできるのかという楽しみがあります。

石川 昨年5月の世界選手権後の世界ランクで日本女子最高の7位に入り、オリンピック出場権を獲得しました。日本からシングルスは2人だけという厳しい条件でした。

石川 はい。2009年に選出条件が発表されてから、ずっと世界ランクのことを考え続けていました。1日中、頭のどこかに数字がちらちらと出て、楽しいことがあっても、心から楽しいと思えない……。頭のどこかに「ギブシイ現実」って感じてました。世界ランクで(他の選手に)リードしていることがほとんどなかったのでキツかったです。ふつう、追いかける方が楽しいと思いますけど、私はけっこう大変でした。

石川 乗り越えたというか……しゅーがないなって思っていました。人生でこんなに厳しい状況に置かれることってそうあるものではないと思って、これは自分が強くなるチャンスだと思えました。

石川 それに、勝ちたいっていう気持ちがあつたからです。イヤなことやつらいことがあっても、こぼさず受け止めて、自分にも試合にも負けてしまいます。勝ちたいっていう気持ちがあれば、どんなことも乗り越えられると思っていました。

石川 はい。目標を一つずつ達成していったら、オリンピックという目標があったという感じです。ロンドンでの目標は、メダルを取る事です。3月の世界選手権(団体)で決勝に進出して、それを自信にしてオリンピックに臨みたいと思っています。

石川 ロンドンでは試合以外で試合会場にも行ってみたい。競技は、リンクロナイスドスイミングを覗いてみたいです。テレビでいつも観ているのでぜひナマで観てみたいです。

石川 はい。大嶋雅盛監督に声をかけていたでいて、強くなりたいと思って自分で決めました。中高一貫教育だったので、高校もそのまま進学することを考えて選びました。

石川 中学時代はどんな練習をしていましたか。

石川 卓球をやっているよかったです。思えば、卓球はやり始めてよかったなと思います。卓球はやり始めてよかったなと思います。卓球はやり始めてよかったなと思います。

石川 やっぱり勝ったときは、勝ったときが一番うれしいし、やっていてよかったな〜って思います。

石川 試合によってその気持ちは違ってくる。大きい大会も小さい大会も同じ気持ちでやるようにはしていません。ただ、とくに絶対勝ちたいって思って準備してきた試合で結果が出たときはうれしいし、強い選手が出ている試合で勝てたらそれもいいですね。

石川 ロンドンオリンピックは石川選手にとって初めてのオリンピックです。どんなイメージがありますか。

石川 ピックはテレビで観ながら、自分も出てみたいなあとは思いましたけど、あまり現実的ではありませんでした。2008年北京オリンピックは観戦に行きました。実際に観てみて、簡単にミスをしないのがすごいと思いました。1本目からすごい気迫だなと。自分もそういう集中力で臨まなければいけないんだと気づかされました。ただ自分自身、絶対に出たいって思ったのは、2010年のモスクワの世界選手権が終わってからです。

石川 モスクワの団体戦で3位に入ることが自信になり、オリンピックを目標として決めたのです。

石川 試合が終わったら、他の会場にも行ってみたい。競技は、リンクロナイスドスイミングを覗いてみたいです。テレビでいつも観ているのでぜひナマで観てみたいです。

石川 夢の舞台。本場にすごい場所だと思えます。2004年のアテネオリ



「オリンピックは夢の舞台」と言う石川選手。ロンドンでの目標はメダル獲得だ!

いしかわ・かすみ
1993年2月23日、山口県山口市出身。平川小→四天王寺羽曳丘中→四天王寺高卒。全農所属。157cm、49kg。左シェークハンド。ロンドンオリンピック女子卓球代表。7歳のときに両親からユニフォームをプレゼントされ、本格的に卓球を始める。全日本選手権では小学6年(2004年)はホープスの部、中学1年(2005年)ではカデットの部で優勝。中学2年(2007年)には一般の部で3位に入った。高校3年の2011年全日本選手権で初優勝。世界選手権には2007年から5大会連続で出場し、昨年のロッテルダム大会後の世界ランクで日本女子最高の8位に入り、ロンドンオリンピック出場権を獲得。

JOCホームページでは石川選手から皆さんへのビデオメッセージが見られます。ぜひアクセスしてみよう!
URLは、<http://www.joc.or.jp/teen/>



ぐんぐんと実力をつけている丹羽選手。ロンドンオリンピック出場を目指している

中学校時代に頑張ったから いまの僕がある

Text / 佐藤温夏 Photo / 小河原友信(インタビュー)、BBM

丹羽孝希

~ OLYMPIAN スペシャルインタビュー ~

K o k i T a n i g u c h i

7歳で卓球を始めたとのことですが、初めてボールを打ったときのことを覚えていますか。

丹羽 はい。意外と難しいなって思いました。見ていると簡単そうだったけど、いざやってみたら全然ラリーが続かない。見ているのとやるのでは全然違うと思いました。

ラリーはどのくらいで続くようになりましたか。

丹羽 1週間くらいです。毎日練習していたので、意外とすぐにできるようになりました。やっぱり続くと面白いので、どんどん卓球にはまっていったのだと思います。最初は周りにすごくほめられていたような記憶があります。うまくセラれていたかも(笑)。

中学校は出身地の北海道苫小牧市を離れ、青森山田中を選びましたね。理由は？

丹羽 小学6年のとき全日本選手権のカデットの部で優勝したのですが、これで青森山田中からスカウトが来ました。青森山田には強い選手がたくさんいるので、そういうところで練習したら自分も強くなれるかなと思って迷わず決めました。

不安はありませんでしたか？

丹羽 最初は練習についていけないかな、とちょっと不安もありました。親と離れるのもすごく寂しかったです。でももつとつらかったのは弟と離れることでした。弟は6歳下なのですが、僕と離れるとき、泣くんです。最初に苫小

牧を離れたとき、弟は小学校に上がる前で一番かわいときだったので、すごくつらかったです。いまもまだ小学5年なので、僕が帰省して青森に戻るときはやっぱり泣いたりするんです。——離れていると家族の応援はより力になりますね。

丹羽 家族はすごく応援してくれています。試合のビデオをいつも送っていて、おばあちゃんもすごく楽しみにしてくれています。

中学生になって勝つために プレースタイルを変えた

——中学生になって新たに取組んだことはありますか。

丹羽 小学生のときは前陣で守りについて相手のボールを利用する感じだった

たのですが、青森山田中に入って先輩たちを見ていたら「このままじゃ勝てないな」と思いました。それで1年のとき、現在のような(両ハンド)によるカウンター中心のプレースタイルに変えました。

——誰に言われるでもなく？

丹羽 はい。すべてにはうまくいかなかったのですが、2年からだんだんできるようになりました。自主練習は毎日やりましたし、とにかく強い人に勝つためには練習しかないと思って頑張りました。

——全国中学校大会では男子シングルスで1年のときに3位、2年で優勝していますね。

丹羽 2年のときの優勝は自信になり、世界を目指すきっかけになりました。この後、2009年の横浜での世界選手権代表に選ばれたし、全中がなかったらいまの自分がなかったと思っています。

——卓球は戦術が非常に大切な競技です。戦術を研究する時間を特別に取るのですか。

丹羽 研究だけの時間を作ったことはありません。戦術については練習時間内で考えます。試合で当たる相手とも練習をたくさんするので、そういう中から頭のなかに自然に作戦ができて、「こいつ来たらいこう」とか常に考えながら練習しています。もちろん試合中にも浮かんできます。

——丹羽選手は精神面の強さの評価も

高いですね。

丹羽 僕は淡々と試合をするのでそう言われるのだと思います。自分としては感情を表に出さないだけで、緊張しているときもあるんですけどね。あと、プレー中に声を出さないからかもしれません。「声を出したほうがいって言われることもありますが、自分としては順調に成長してきていると思うので、これまでのスタイルを変える必要はないかなと思っています。

夢のオリンピックに向けて

——ロンドンオリンピックの代表入りを目指していますね。

丹羽 オリンピックが一番大きい大会だから、出たいという夢はありました。が、まさか自分が代表争いのなかに入れるとは思っていませんでした。実際に意識するようになったのはおとこし、世界ランクが一気に上がって周りから「代表を狙える」と言われるようになってからです。そう言われるようになってから自分自身も変わりました。すごくいいプレッシャーになっていくというか、試合には常に最高の準備をして臨みたいと考えるようになったし、集中してプレーできるよになりました。

——ロンドンオリンピック出場が内定した場合、団体戦メンバーとして臨むことになりそうです。

丹羽 シングルスは個人の責任ですが、団体戦は自分一人じゃないので、緊張

にわ・こうき

1994年10月10日、北海道苫小牧市出身。青森山田中→青森山田高2年在学中。7歳のとき、姉の美里(青森山田高3年)とともに卓球選手だった父の影響で卓球を始める。早い打球点で両ハンドからカウンターを繰り出すのが特徴の若手ナンバー1プレイヤー。2009年横浜、2011年ロッテルダム世界選手権出場。2010年シンガポールユースオリンピック優勝。2011年世界ジュニア選手権男優勝(以上すべて男子シングルス)。160cm、48kg。世界ランクは23位(2012年2月1日現在)。

JOCホームページでは丹羽選手から皆さんへのビデオメッセージが見られます。ぜひアクセスしてみてください!
URLは、<http://www.joc.or.jp/teen/>



福原 愛

(ANA)
ふくはら・あい
1988年11月1日、宮城県出身。
155cm、46kg。青森山田高卒。
早稲田大学中退。世界ランク9位

AP

3歳9カ月から卓球のトレーニングを受けてみるみる上達し、「天才卓球少女」と騒がれました。14歳で世界選手権代表となりシングルスでベスト8に入ると、翌年2004年にはアテネオリンピック出場を果たし、16強となりました。

さらに中国でトップレベルの超級リーグに参加し、試合経験積んで技術的にも大きく向上。2008年北京オリンピックにも出場し、16強となりました。

打点の低いところから繰り出すバックハンドを大きな武器に、早いピッチの卓球が持ち味。13回目の出場となった今年1月の全日本選手権女子シングルスでは、ライバルでダブルスパートナーの石川佳純選手を決勝で破って念願の初優勝を飾りました。

*世界ランク、記録は2012年2月1日現在

馮天薇 (シンガポール)

AP / AFLD

フォン・ティエンウェイ / 1986年8月31日、中国出身。世界ランク5位

中国からの帰化選手で強烈な両ハンドドライブが武器。2010年にモスクワで行われた世界卓球選手権の女子団体決勝で中国を下し、見事優勝したシンガポールのエース。



李曉霞 (中国)

AP / AFLD

リ・シャオシア / 1988年1月16日、中国出身。世界ランク4位

安定感抜群のドライブが武器。昨年のロッテルダム世界選手権はシングルスは銀、ダブルスで金メダルに輝いた強豪です。前回に続き2度目のオリンピックとなります。



丁寧 (中国)

AP / AFLD

ディン・ニン / 1990年6月22日、中国出身。世界ランク1位

昨年ロッテルダム選手権シングルスで20歳にして初優勝。左シェークハンドのオールラウンド型。パワフルなドライブで相手を圧倒する中国の新エースです。



ロンドンオリンピックで日本人初の

【卓球 ロンドンオリンピック代表選考条件】

昨年5月のロッテルダム世界選手権後に国際卓球連盟より発表された世界ランク上位28名に参加資格が与えられた(1カ国・地域につき最大2名)。これに加えて団体戦メンバーとして日本は、日本卓球協会強化本部推薦選手として男女各1名を選出し、4月19~22日のアジア大陸予選会(香港)で残り1枠獲得を狙う。

の活躍に期待! 注目の選手たち! メダル獲得なるか?

ロンドンオリンピックの卓球代表には、巻頭インタビューに登場した石川佳純選手に加えて福原愛選手、男子では水谷隼、岸川聖也選手も内定しています。そして女子団体戦メンバー候補の平野早矢香選手、さらに、メダル候補であり日本のライバルである外国人選手を紹介します!

外国人選手編

ロンドンオリンピックで出場が予想される外国人選手を紹介しましょう。どの選手も日本選手の強力なライバルです



ティモ・ボル (ドイツ)

Timo BOLL / 1981年3月8日、ドイツ出身。世界ランク4位

2011年に唯一、中国人以外の選手として世界ランク1位になったドイツのスター選手。両ハンドによるカウンターを得意とするブレススタイルと強烈なドライブショットに憧れている人もいるのでは? 打倒・中国人選手の筆頭として金メダルを狙います。

王皓 (中国)

ワン・ハオ / 1983年12月5日、中国出身。世界ランク3位

2009年横浜世界選手権シングルスで優勝経験のあるベテラン。2度出場したオリンピックではともに銀メダルで、ロンドンでは3度目の正直で頂点を狙いたいところ。



馬龍 (中国)

マ・ロン / 1988年10月20日、中国出身。世界ランク1位

2010年は一度も世界ランク1位の座を譲らず、圧倒的な強さを誇った中国の実力者。強烈なフォアハンドで相手を打ち負かします。ときどきミスを連発して崩れることもあり、昨年の世界選手権は3位に入りました。



水谷隼

(明大)
みずたに・じゅん
1989年6月9日、静岡県出身。
172cm、66kg。
明治大在学中。世界ランク9位

AP

昨年まで全日本選手権で5連覇を果たし、日本卓球史上最強と言われる選手です。2008年の北京オリンピックでは団体5位入賞の原動力となり、2009年の世界選手権では岸川聖也選手とのダブルスで銅メダルを獲得。昨年のロッテルダム世界選手権では準々決勝に進出、惜しくもメダル獲得はなりませんでした。大会直後の世界ランクで日本人選手最高の7位に入ってロンドンオリンピック日本代表に内定しました。

天性のボール感覚に加えて勝負も抜群。また、強気な発言も魅力で、多くの卓球ファンをとりこにしています。ロンドンオリンピックでは、日本卓球史上初のメダル獲得が期待される、「100年に一度」と言われる天才です。

5歳から卓球を始め、中学生でドイツに渡り高校卒業後もドイツでプロ選手として生きることを選んだ勝負師。安定感抜群のバックハンドが武器で、相手を惑わすネットプレーや正確な台上技術が持ち味です。昨年7月に行われたジャパンオープン・荻村杯でプロツアー初優勝を飾り、前回北京オリンピックに続く2度目のオリンピック出場に向けて調子を上げています。

また、個人戦だけでなくダブルスでも強さを発揮し、水谷選手とは2009年横浜世界選手権で銅メダルを獲得したほか、昨年のロッテルダム世界選手権では福原愛選手と組んだ混合ダブルスで3位に入っています。ロンドンオリンピックでは、個人戦、団体戦ともにメダルを狙える選手です。

AP

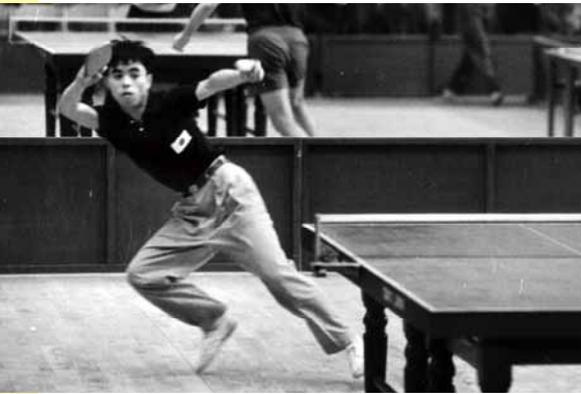


岸川聖也

(スウェーデン)
きしかわ・せいや / 1987年5月21日、福岡県出身。168cm、68kg。仙台育英学園高卒。世界ランク16位



日本卓球 栄光の歴史



NIKKAN SPORTS / AFLO

▲荻村伊智朗は、1954、1956年の男子シングルスで優勝等世界選手権で計12個の金メダルを獲得

荻村ら13人の世界チャンピオンを生んだ黄金時代があった!

これをきっかけに、日本卓球は黄金時代を迎えます。以降、5大会連続で男子シングルス優勝。1969年ミュンヘン大会まで、男女シングルスの世界チャンピオンが13人誕生しました。とくに1956年の東京世界選手権で

1952年、初出場の世界選手権で4タイトルを獲得

日本の卓球の歴史は古く、いまから100年前の1902年、ヨーロッパで卓球を見た東京高等師範学校教授の坪井玄道が用具を持ち込み広めたことに始まります。

世界選手権に日本が初出場したのは1952年にボンベイで開かれた世界選手権。日本はいきなり男子シングルスで佐藤博治、男子ダブルスで藤井則和・林忠明、女子団体とダブルスで西村登美江・植原静の各選手が優勝。世界の卓球界を驚かせました。



▲1979年平壤大会で優勝した小野誠治。以来日本からチャンピオンは出ていない AFLO

は男子シングルスで荻村伊智朗選手が、女子シングルスでは大川とみ選手が優勝し、日本中に卓球ブームを巻き起こしました。しかし、1979年平壤大会で小野誠治選手が男子シングルスで優勝して以来、日本からチャンピオンは生まれていません。

1980年代に入ると、次第に世界のレベルが上昇。中国が世界トップに君臨し、日本は厳しい時代を迎えます。それでも日本は地道に強化を続け、卓球がオリンピックの正式競技となった1988年第24回ソウル大会の全種目に出場。女子ダブルスで星野美香、石田清美組が4位に入賞しました。1996年第26回アトランタ大会で、女子シングルスで小山ちれ、男子ダブルスで渋谷浩・松下浩二組、女子ダブルスで小山ちれ・(東童多英子組)がそれぞれ5位に入り、一気に3種目での入賞を果たしました。その後、日本は復活の道を歩みます。



▲小山ちれは、1996年アトランタオリンピックで5位入賞を果たした AP / AFLO

1980年代に入ると、次第に世界のレベルが上昇。中国が世界トップに君臨し、日本は厳しい時代を迎えます。それでも日本は地道に強化を続け、卓球がオリンピックの正式競技となった1988年第24回ソウル大会の全種目に出場。女子ダブルスで星野美香、石田清美組が4位に入賞しました。1996年第26回アトランタ大会で、女子シングルスで小山ちれ、男子ダブルスで渋谷浩・松下浩二組、女子ダブルスで小山ちれ・(東童多英子組)がそれぞれ5位に入り、一気に3種目での入賞を果たしました。その後、日本は復活の道を歩みます。

日本はこれに自信を深め、翌年の2009年横浜世界選手権では水谷隼・岸川聖也組が男子ダブルスで銅メダルを獲得。昨年のロッテルダム大会では岸川・福原愛組が混合ダブルスでの39年ぶりのメダル獲得を果たすなど、確実に成長を続けています。

また、水谷選手が2010年のプロテアークランドファイナルで日本人選手として初めて優勝を飾るなど、個人でのレベルも上昇。水谷のほか、第30回ロンドン大会代表に内定している岸川、福原、石川佳純ら各選手は、世界各国を転戦しながら、日夜、技術向上に励んでいます。

卓球日本、復活へ着実な足取り

★卓球 世界への挑戦ヒストリー★

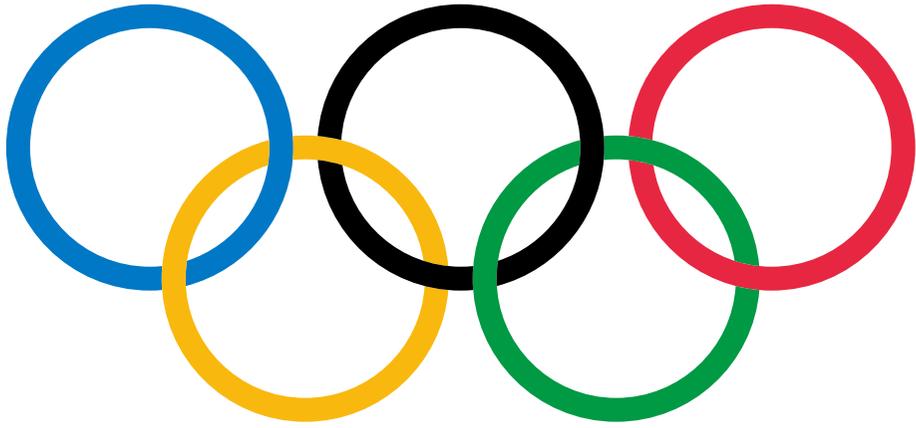
年	大会	主な出来事と成績
1952年	ボンベイ世界選手権	日本は世界選手権初出場で7種目中4種目で優勝、世界を驚かせる
1954年	ウェンブリー世界選手権	男子シングルスで荻村伊智朗が優勝
1956年	東京世界選手権	男子シングルスで日本が表彰台を独占。荻村はシングルス、ダブルス2冠、女子シングルスで大川とみが優勝(1979年大会まで日本からシングルスの世界チャンピオン13選手が誕生)
1987年		荻村伊智朗氏が国際卓球連盟会長に就任
1988年	ソウル・オリンピック	卓球がオリンピック正式競技となる。日本は4種目すべてに出場
1988年	アトランタ・オリンピック	4種目に出場し、3種目に入賞
1997年	マンチェスター世界選手権	男子ダブルスで松下浩二・渋谷浩が銅メダル(14年ぶり)
2000年	クアラルンプール世界選手権	男子団体が19年ぶりに銅メダル
2001年	大阪世界選手権	女子団体が18年ぶりのメダル(銅)。女子ダブルスで武田明子・川越真由が銅メダル(26年ぶり)
2004年	ドーハ世界選手権	女子団体が銅。中国に2対3と迫る健闘
	アテネ・オリンピック	女子ダブルスで梅村礼・藤沼亜衣が5位入賞
2006年	プレーメン世界選手権	女子団体が銅メダル
2008年	広州世界選手権	男女団体が銅メダル
	北京オリンピック	女子団体が4位、男子団体が5位入賞
2009年	横浜世界選手権	男子ダブルスで水谷隼・岸川聖也が12年ぶりとなる銅
2010年	モスクワ世界選手権	男女団体が銅メダル
2011年	ロッテルダム世界選手権	混合ダブルスで岸川・福原が銅メダル
2012年	ロンドン・オリンピック	???. どんな歴史が生まれるか? みんなで応援しよう!

ロンドンなるほどクイズ⑥

ホッケー

※答えは JOCのHP (<http://www.joc.or.jp/teen/>)で

ホッケー-日本代表は1932年第10回ロサンゼルス大会でオリンピックに初出場しました。これは日本が初めて団体競技としてオリンピックに出場した競技である。○か×か?



L O N D O N
O L Y M P I C



ロンドンオリンピック

実施全 **26** 競技
紹介!

ロンドンオリンピックでは26競技302種目が行われます。

ここでは、各競技の見どころをご紹介します。

※記録、結果は2012年1月31日現在。



レスリング Wrestling

女子レスリングで無敵の女王と言え、55kg級で世界選手権9連覇中の吉田沙保里選手です。ロンドン大会ではオリンピック3連覇の期待がかかります。同じく、オリンピック3大会連続金メダルを狙うのが63kg級の伊調馨選手です。長い手足を生かしての、すばい攻撃が特長です。さらに女子48kg級の小原日登美選手が代表に内定しています。男子では昨年の世界選手権フリースタイル66kg級で銀メダルの米満達弘選手に期待がかかります。女子72kg級の浜口京子選手ら、その他の階級は男女ともに3月30日からのアジア大陸予選で出場権獲得に挑みます。

★メダル獲得数

金	24
銀	17
銅	15



吉田沙保里選手 / PHOTO KISHIMOTO



Judo 柔道



★メダル獲得数

金	35
銀	15
銅	15

5月の代表最終選考会で代表が決定しますが、すでに厳しい代表争いは始まっています。世界ランク上位に日本選手がひしめき合い、超ハイレベルな争いが繰り広げられているのが女子48kg級。代表に最も近いのは世界選手権2連覇中の浅見八瑠奈選手。多彩な技と大舞台でも堂々とした試合運びを見せる精神力が魅力です。

男子にも注目選手がずらり。2004年アテネ大会100kg超級金メダリストで、2008年北京大会日本選手団主将の鈴木桂治選手が3大会連続出場を狙っているほか、100kg級の穴井隆将選手が初出場での金メダル獲得を目指しています。

穴井隆将選手 / BBM



福島千里選手 / BBM

陸上競技 Athletics

陸上競技はもちろん、日本代表選手団の大黒柱と言えるのが、昨年の世界選手権で優勝し、ロンドンオリンピックの代表に内定している男子ハンマー投の室伏広治選手です。2004年アテネ大会では日本選手として投てき種目で初の金メダルに輝き、2008年北京大会でも5位入賞を果たしている“鉄人”です。ロンドン大会では自身2つめの金メダル獲得を狙います。

★メダル獲得数

金	7
銀	7
銅	18

女子では北京大会で100mに56年ぶりの出場を果たした福島千里選手に注目！ 爆発的なスタートダッシュで前半から加速し、一気に走り抜けるパターンが持ち味。ロンドン大会では100、200mいずれも初の決勝進出を狙います。

6月の日本選手権で優勝し、A標準記録を突破することが、ロンドン大会出場への第一条件となります。



体操

- 体操 Artistic Gymnastics
- 新体操 Rhythmic Gymnastics
- トランポリン Trampoline

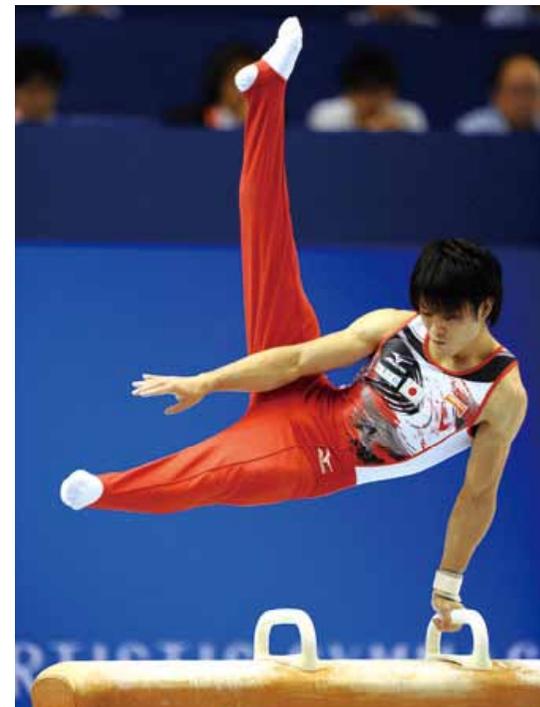
★メダル獲得数

金	28
銀	31
銅	33

体操は、金メダル獲得有望種目。なかでも昨年の世界選手権男子個人総合で史上初の3連覇を達成した内村航平選手に期待がかかります。美しい演技で世界を魅了してくれるはず。女子では145cmと小柄ながら確実な演技を見せる鶴見虹子選手、2010年世界選手権で日本人初のエレガンス賞を受賞した田中理恵選手に注目。団体は前回北京大会で男子が2位、女子も5位入賞を果たしています。ロンドン大会での目標は、男子はもちろん金メダル、女子もメダル獲得を狙います。

新体操は、団体で出場が決まっています。「フェアリージャパン」（日本代表チームのニックネーム）の選手たちは合宿生活で絆（きずな）を深めてきました。昨年の世界選手権では5位。ロンドン大会ではさらに上位を狙います。

トランポリンは、男子の伊藤正樹選手が代表に内定しています。昨年の世界選手権で銅メダルを獲得しており、「ロンドン大会では一つでも順位を上げたい」と意気込んでいます。



内村航平選手 / PHOTO KISHIMOTO



水泳

- 競泳 Swimming
- 飛込み Diving
- シンクロナイズドスイミング Synchronised Swimming
- 水球 Water Polo

★メダル獲得数

金	20
銀	27
銅	30

期待のかかる選手が多い競泳。男子平泳ぎで2004年アテネ大会、2008年北京大会と2種目2連覇の北島康介選手が3大会連続の金メダル獲得を目指します。男子背泳ぎの入江陵介選手、男子バタフライの松田丈志選手らのハイレベルな代表争いも注目です。女子では背泳ぎの寺川綾選手や、昨年中学生ながら200m平泳ぎで世界ランク3位に入った渡部香生子選手らがオリンピック出場を目指しています。代表は4月の日本選手権で決定します。

飛込みは、飛板飛込み（とびいたとびこみ）と高飛込み（たかとびこみ）の2種類があります。水面までの演技内容や、入水の際に水しぶきが少ない方が評価されます。男女ともに中国勢が圧倒的な力を誇っています。

シンクロナイズドスイミングは、4月のロンドンオリンピック最終予選でデュエット、チームともに出場権獲得に挑みます。乾友紀子選手を中心に、日本らしい繊細で確実な演技ができるかがカギとなりそう。



入江陵介選手 / AFLO

“水中の格闘技”と言われるほど激しいスポーツである水球。ゴールキーパーを含めて1チーム7人の選手が点を取り合うボールゲームです。ロンドンオリンピックには残念ながら男女ともに日本は出場を果たせませんでした。男子はセルビアやイタリア、女子はアメリカやギリシャなどの強豪国が中心となってメダル争いを展開しそうです。

射撃 Shooting

ライフルとクレーの2種目があり、日本代表には実力者がそろいます。ライフル射撃のピストル種目には、2大会連続代表の松田知幸選手らが出場権を獲得。クレー射撃では、北京大会4位の中山由起枝選手が3度目のオリンピック出場権を獲得しており、いずれもメダル獲得が期待されます。

★メダル獲得数

金	1
銀	2
銅	3

重量挙げ Weightlifting

スナッチ、クリーン&ジャークの2種目があり、それぞれ3回試技を行い、各種目の最高重量の合計で順位を決定。日本からは女子で3選手の出場が決定済み。そのうちの一人、女子53kg級の三宅宏美選手は3大会連続の出場です。147cmの小さな身体で合計200kg以上のバーベルを持ち上げる姿は感動的です。

★メダル獲得数

金	2
銀	2
銅	8

自転車 Cycling

★メダル獲得数

金	0
銀	1
銅	3

一般道を使うロードレース。男子代表にヨーロッパを拠点に活躍するプロの別府史之選手が2大会連続で内定済み。女子では2010年バンクーバー冬季大会スピードスケート銀メダルの田畑真紀選手が自転車に転向し、ロンドン代表に挑戦中。冬季大会に加えて夏季大会での出場に期待が集まります。

トラック Track

ロードレース Road

マウンテンバイク Mountain Bike

ビーエムエックス BMX

アーチェリー Archery

★メダル獲得数

金	0
銀	2
銅	1

弓矢で的を狙い、当てた点数を競うアーチェリー。男子の菊地栄樹選手と女子の早川連選手というフレッシュな2人がオリンピック代表に内定しています。6月の最終予選で出場権獲得を目指す団体では、ロンドン大会でも上位進出が目標です。

セーリング Sailing

★メダル獲得数

金	0
銀	1
銅	1

470級(よんななまるきゅう)、49er級(フォーティーナイナーきゅう)、レーザー級などヨットの大きさによって6種目に分かれています。とくに470級では男女ともに世界トップの実力を誇り、ロンドンでのメダル獲得の可能性も大!

馬術 Equestrian

★メダル獲得数

馬場馬術 Dressage	金 1
総合馬術 Eventing	銀 0
障害飛越 Jumping	銅 0

オリンピックでただ一つ、動物とともに行う競技。人間(選手)だけでなく馬も代表として登録され、選手と馬がいかに息を合わせられるかが見どころの一つです。総合馬術団体では佐藤賢希選手&チップー、土屋毅明選手&ジャックアビーが内定しています。

フェンシング Fencing

★メダル獲得数

金	0
銀	1
銅	0

フルーレ、エペ、サーブルの3種目があり、日本は伝統的にフルーレが得意。3月末の世界ランクによって出場枠が確定します。日本は前回北京大会男子フルーレ銀メダルの太田雄貴選手や、昨年全日本王者の藤野大樹選手が代表の有力候補!



太田雄貴選手 / PHOTO KISHIMOTO

ボクシング Boxing

★メダル獲得数

金	1
銀	0
銅	2

注目はロンドン大会から正式競技に採用された女子。全日本女子ボクシング選手権ライト級4連覇の釘宮智子選手、ミドル級にお笑いコンビ「南海キャンディーズ」のしずちゃんこと山崎静代選手が5月の世界選手権に出場権獲得をかけて臨みます。男子は昨年の世界選手権ミドル級2位の村田諒太選手とウエルター級の鈴木康弘選手が代表に内定しています。

テニス Tennis

★メダル獲得数

金	0
銀	2
銅	0

6月の全仏オープン後の世界ランクで出場権が決定。1月の全豪オープンで日本男子として80年ぶりのベスト8入りを果たした錦織圭選手が出場に意欲を見せているほか、女子は森田あゆみ選手を中心にダブルスでのメダル獲得を目指しています。

バレーボール Volleyball

★メダル獲得数

バレーボール Volleyball	金 3
ビーチバレー Beach Volleyball	銀 3
	銅 2



女子バレーボールチーム選手 / BBM

バレーボールは、男女ともに5、6月に東京で開催される世界最終予選兼アジア大陸予選で出場権獲得を目指しています。

2大会連続出場を目指す植田辰哉監督率いる男子は、レベルが上がっているアジアで勝つため、全体的な底上げが課題。エースの清水邦広選手を中心にチーム一丸となって、オリンピックへの切符を勝ち取ります。

女子は、エース・木村沙織選手をはじめ、江畑幸子選手や新鍋理沙選手らの若手も急成長中。粘ってひろろ、スピード感あふれるコンビバレーで3大会連続出場を決めたいところです。

ビーチバレーは、6月のアジア最終予選で優勝すれば出場権を獲得。男子は朝日健太郎・白鳥勝浩選手ペア、女子は田中姿子・溝江明香選手ペアに期待です。



サッカー女子代表「なでしこ JAPAN」 AP / AFLO

Football サッカー

★メダル獲得数

金	0
銀	0
銅	1

昨年の女子ワールドカップで優勝したサッカー日本代表「なでしこ JAPAN」。その後に行われたアジア最終予選を勝ち抜きオリンピック出場権を獲得しました。ワールドカップで得点王となりMVPも獲得した澤穂希選手を中心にロンドンオリンピックでも金メダルをゲットしてほしいものです。

選手の年齢制限がなく、フル代表で臨む女子とは違い、23歳以下の選手で構成される男子。3月に終了するアジア最終予選で出場権獲得を目指しています。メンバーには酒井宏樹選手、山和也選手など実力派がそろい、出場が決まれば、3位となった1968年メキシコシティー大会以来のメダル獲得に期待です。

ホッケー Hockey

★メダル獲得数

金	0
銀	1
銅	0

2004年アテネオリンピックでは初出場ながら8位入賞した女子。前回北京大会では10位でしたが、昨年のアジアチャンピオンズチャレンジで優勝。18歳以下のアジアカップでも初優勝して若い選手も成長し、勢いに乗っています。男子は前回北京大会予選では2位に食い込み、出場まであと一歩のところまで迫りました。ロンドン大会に向けては、9月の大会で1984年ロサンゼルスオリンピック金メダルのバキスタンに快勝。着実に実力アップしています。男女とも、4月から5月にかけての世界最終予選で優勝すると出場権を獲得できます。日本で開催されるこの予選をぜひ応援しよう!



女子ホッケーチーム / Atsushi Tomura / AFLO SPORTS



水谷隼選手/AP

Table Tennis 卓球



ロンドン大会で男女ともに日本初のオリンピックでのメダル獲得が期待される卓球。男子のエースは昨年の世界ランクで日本選手として過去最高の6位に入った水谷隼選手。岸川聖也選手とペアを組むダブルス、団体ともにメダル奪取に照準を合わせています。

石川佳純選手、福原愛選手の人気選手が代表入りを決めている女子も注目です。前回北京大会では5位だった団体ではメダル獲得が目標であるのはもちろんのこと、国際大会で身につけた試合経験を生かし、シングルスでも上位進出を目指しています。



テコンドー Taekwondo

漢字では「**■**拳道」と書く韓国の国技。蹴るなどの足技、突くなどの手技を使います。日本代表の注目は15歳から競技を始めた女子49kg級の笠原江梨香選手。初出場のロンドン大会では、「メダルを狙いたい」と意欲満々。

★メダル獲得数

金	0
銀	0
銅	1



バドミントン Badminton

4月末発表の世界ランクによって出場枠が決定するバドミントン。出場が決まれば、2010年の全英オープン男子シングルスで日本人として44年ぶりに決勝に進出した田児賢一選手に日本勢初のメダル獲得に期待がかかります。また、混合ダブルスの「イケシオ」ペアこと池田信太郎・潮田玲子選手組にも注目！



バスケットボール Basketball

6月に開催される世界最終予選。日本は女子が出場します。キャプテンの大神雄子選手を中心に若手も成長。アテネ大会以来の出場権獲得に全力で臨みます。昨年のアジア選手権で敗退し、出場を逃した男子の分も、がんばれ！「隼（はやぶさ）ジャパン」（日本代表ニックネー



ハンドボール Handball

4月からの世界最終予選で男子は24年ぶり、女子は36年ぶりのオリンピック出場を目指している日本。昨年のアジア予選で男女ともに2位となり、確実にレベルアップしています。男子は宮崎大輔選手、女子は植垣暁恵選手がチームを引っ張ります。



カヌー Canoe

スラローム Slalom

流れの急な川で、2本のポールで構成されたゲートを設置し、上流から指定された順番に通過してタイムを競うのが**スラローム**。

スプリント Sprint

川でも流れのおだやかな下流や湖の静水で直線コースのタイムを競うのが**スプリント**。舟の両側を交互に漕いで進むカヤックと、おもに片側だけを漕ぐカナディアンカヌーの2種類がある。日本は、スプリント女子カヤックの北本忍選手ら男女8選手が代表に決まっています。



ボート Rowing

水面上の2000m、6レーンの直線コースで競います。スカルというボートを使い、2人で漕ぐダブルスカルでは男子軽量級の須田貴浩・西村光生選手組、同女子の林真奈美、福本温子選手組が代表に内定済み。天候などの影響を受けやすいため奥の深い競技と言われます。ほかに舵手なしペア、エイトなどがあり、全部で7種目が行われます。



トライアスロン Triathlon

競技内容がとて過酷なため、アイアンマン（鉄人）レースとも言われます。オリンピックではスイム（競泳）1.5km、ラン（マラソン）10km、バイク（自転車）40kmの3種目・計51.5kmで競います。日本からは女子の上田藍選手が2大会連続の代表に内定済み。残りの出場枠は5月に確定します。



近代五種 Modern Pentathlon

射撃、フェンシング、水泳、馬術、ランニングの5種目を1人で行うのが近代五種です。オールラウンドな運動能力が求められるヨーロッパで人気の競技です。ロンドン大会は黒須成美選手、山中詩乃選手が日本の女子として内定しており、オリンピック初出場となります。



ロンドン市内の駅構内にも五輪が掲げられ、気分はオリンピック色

BBM

ロンドンでのオリンピック開催は1908年と1948年に続いて3回目。現在、市内を中心に急ピッチで準備が進められています。ロンドンは美しい公園が市内に点在する街として知られていますが、メイン会場となるオリンピック・パークも緑にあふれ、訪れる人がリラックスして過ごせるようデザインされています。大会開催の準備にあたっては「ロンドングリーン・ビルド2012」という取り組みが実施されています。オリンピック・スタジアムの屋根は使わなくなったガスを使って作ったり、自転車競技場はエネルギー消費を抑えるために自然光を採り入れたりするなど、環境に配慮した設計となっています。

AFLO

4つの国からなる 連合王国

ロンドンはヨーロッパのイギリス諸島にあるイギリスの首都です。イギリスとは通称で、正式名称は、グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国といい、イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドからなる立憲君主制国家です。ロイヤル・ファミリーと呼ばれる王室は世界中の憧れで、現在の王位はエリザベス女王にあります。



■イギリスの基本情報

公用語	英語
首都	ロンドン
面積	総計 24万3000km ²
人口	6,180万人 (2010年)
建国	1801年
通貨	UK ポンド (£) (GBP)
	日本との時差 -9時間 (日本が先行) (夏時間は-8時間)

Welcome to London 2012!



ようこそ、 ロンドンへ!

▲大会のメイン会場となるオリンピックパーク。仕上げに向けて急ピッチの作業が進む

会場マップ



オリンピック開催を待つ
伝統と緑あふれる公園の街

聖火の採火式

いよいよ7月から
ロンドンオリンピック!!

開会式から開会式まで
とことん楽しむぞ!!

甘いな倫太郎
開会式の前には
聖火リレーと
その採火式もあるぞ

さ...
採火式?

聖火ランナーによって
開催地まで運ばれる聖火
それはギリシャで
太陽光を利用して
採火されるのさ

開会式から
伝統的儀式から
始まるんだぜ

えー!!
知らなかったー!!

オリンピックって
奥深いんだねー!!

くそ...
敦のヤツ...

聖火リレーは、1936年のベルリン大会から古代オリンピックにあって復活し、1951年のIOC総会でオリンピック憲章に正式に加えられた。ギリシャのヘラの神殿前で太陽を利用して採火され、聖火ランナーによって開催地に届けられる。実は、採火の儀式は非公開。テレビなどで観られるものはメディア向けの公開リハーサル。こういう秘められた部分があるのは、古代の祭典に由来しているオリンピックの魅力かも。

Q4 オリンピック・ムーブメントってなに?

A オリンピックの理念を
さまざまな形で実現し、
受け継いでいく活動のことです。

Q1の答えで紹介した「スポーツを通して心身を向上させ……」というクーベルタン男爵の掲げた理想は、オリビズムと呼ばれ、オリンピックのあるべき姿として現在までに受け継がれています。これをさまざまな形で実現していくことを、「オリンピック」と活動などの意味のある「ムーブメント」という単語と組み合わせ、「オリンピック・ムーブメント」と呼んでいます。



PHOTO KISHIMOTO

オリンピック・ムーブメントは、スポーツに限定されたものではなく、文化活動も含まれます。日本では、オリンピック選手たちの映像とともに音楽を聴くオリンピックコンサートが、毎年6月に開催されています。

あなたにも
チャンスが
あるかも!

ユースオリンピック [Youth Olympic Games]で オリンピックを体験

ユースオリンピックとは、14~18歳という若い選手を対象としたオリンピックのことです。ジャック・ロゲIOC会長の発案で始まりました。大会の特徴は、若い世代にスポーツにもっと親しんでもらい、オリンピック精神を体験する場として、教育や交流に重点を置いていること。選手も必ずしもトップレベルだけでなく、多くのユース世代がオリンピックを体験できる機会となっています。夏季大会の第1回は2010年8月にシンガポールで開催され、205の国と地域から約3600人の選手が参加し、26競技が行われました。日本は71人の選手が、16競技に出場、7選手が金メダルを獲得しました。

初めてとなる冬季大会は、2012年1月13~22日までオーストリアのインスブルックで開催。日本からは選手32人が参加し、3種目で金メダルを獲得しました。また、文化・教育プログラムを通じて、国際親善に務めました。



PHOTO KISHIMOTO

◀ 第1回ユースオリンピック冬季大会の開会式の様子

オリンピック なんでも

知ってる?
知らない?



Q&A

オリンピックって、
その存在は知っているけれど、
そもそもどうして始まったのか、
どうして4年ごとに開催するのか…
実は知らないことが多いではありませんか?
Q&A方式でオリンピックの謎について迫ってみよう!

知って
おきたい!
基礎知識編

Q1 オリンピックって、 いつ、だれが始めたの?



クーベルタン男爵

A いまから118年前の1894年、
クーベルタン男爵が古代オリンピックの
復興を提唱して始まりました。

「スポーツを通して心身を向上させ、文化・国籍など様々な違いを超え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって理解し合うことで、平和でよりよい世界の実現に貢献しよう」。フランス人のピエール・ド・クーベルタン男爵(だんしゃく)は、1894年、パリの万国博覧会に際して開かれたスポーツ競技者連合会議の席でこのようにオリンピックの復興を提唱しました。

オリンピックとは、かつて古代ギリシャで神を称えるお祭りであったスポーツの祭典のことで、これを近代に蘇らせようという提案でした。この案は満場一致で可決され、第1回大会を1896年、古代オリンピックのふるさと、オリンピアのあるギリシャで開催することに決まりました。クーベルタンの掲げた理想が、多くの人の共感を得て、オリンピックという名の競技会が復興することになったのです。

Q3 五輪のマークの 意味は?

A 5大陸の結びつきを
示しています。



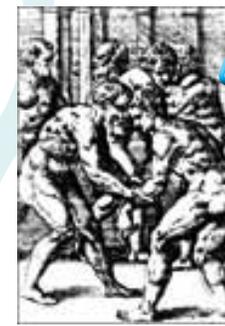
オリンピックマーク

オリンピックのシンボルとして知られる五輪のマークも、クーベルタン男爵が考案したものです。「青、黄、黒、緑、赤の色は、地色の白を加えると、世界の国旗のほとんどを描くことができるという理由で選んだ」と彼自身が書き残しています。また、5つの輪は5大陸(ヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、アジア、オセアニア)の結合を表しています。

このマークが描かれた旗は「オリンピック旗」と呼ばれ、1920年の第7回アントワープ大会から使われるようになりました。近年では、開会式のクライマックスに「オリンピック讃歌」の調べに乗り、入場するのが慣例となっています。

Q2 どうして4年ごとに 開催するの?

A 古代オリンピックの伝統
にならったことです。



古代オリンピックのレスリング競技の様子

オリンピックの復興を決めたスポーツ競技者連合の会議では、開催にあたっての細かいことも決められました。そこで「大会は古代の伝統に従って4年ごとに開催する」ということも決まりました。ほかにには次のようなものもありました。

- ・世界各国の大都市での持ち回り開催とすること。
- ・大会開催に関する最高の権威を持つ国際オリンピック委員会 (IOC) を設立すること。

現在では当たり前となっているオリンピック開催についてのいろいろな決まりは、最初に開催を決めたときに定められ、その多くがいまも受け継がれているのです。

オリンピックと友情



陸上競技・棒高跳びの代表・西田修平と大江季雄は、アメリカ勢との熾烈な争いの末、それぞれ銀・銅メダルを獲得。2人は死闘を共に戦った互いの勇姿を称え、友情のしるしとして、メダルを二つに切断し、それを併せてメダルを作成した。これが「友情のメダル」である。(後に、西田修平のメダルは早稲田大学に、大江季雄のメダルは秩父宮記念スポーツ博物館に、それぞれ寄贈された。)

Q3 日本人の最年少、最年長メダリストの年齢は?

A 最年少が14歳と6日、最年長が48歳4カ月です。

PHOTO KISHIMOTO



岩崎恭子選手

最年少の14歳と6日の選手は、1992年第25回バルセロナ大会の競泳女子200m平泳ぎで金メダルに輝いた岩崎恭子選手です。岩崎選手は1978年7月21日生まれ。14歳の誕生日を迎えただけの中学生が金メダルを獲得したことで、日本中を驚かせました。

最年長の48歳4カ月は1984年第23回ロサンゼルス大会の射撃ラビットファイア・ピストルで金メダルを獲得した蒲池猛夫選手です。射撃は経験と高い集中力が必要とされる競技。蒲池選手の金メダルはあきらめずに続けた長い競技生活が生かされた結果といえるでしょう。

Q4 日本人が初めてメダルを獲得した大会と競技は?

A 1920年第7回アントワープ大会のテニスです。

日本から2回目のオリンピック出場となった、1920年第7回アントワープ大会において、テニスの男子シングルスで熊谷一弥選手が、男子ダブルスで柏尾誠一郎選手と熊谷選手のペアがいずれも銀メダルを獲得。これが日本にとって初めてのオリンピックのメダルとなりました。

初めての金メダル獲得となったのは、その2大会あとの1928年第9回アムステルダム大会。陸上競技の三段跳の織田幹雄選手と男子200m平泳ぎの鶴田義行選手です。この大会では、陸上競技の女子800mで人見絹枝選手が日本の女子選手として初めてのメダルとなる銀メダルを獲得しました。実は人見選手は期待されていた100mでは準決勝で敗退となったため、急ぎょ800mに出場したというエピソードも残っています。ちなみに、金メダル獲得の第1号となったのは織田選手。鶴田選手の出場した男子200m平泳ぎより三段跳は6日早く行われたからです。



Ullstein Bild / AFLO

日本の女子選手として初めて銀メダルを獲得した人見絹枝選手(左)

オリンピック なんでも Q&A

Q1 日本人の最初の国際オリンピック委員はだれ?



嘉納治五郎

A 柔道の創始者であり、体育教育に情熱を注いだ嘉納治五郎です

いまから103年前の1909年、国際オリンピック委員会 (IOC) の委員に日本人として初めて就任したのが嘉納治五郎 (1860 ~ 1938年) です。嘉納は講道館柔道を創始した人物で、東京高等師範学校 (現在の筑波大) の校長として体育教育に情熱を注ぎ、柔道だけでなく、サッカーやテニス、水泳などいろいろなスポーツを学生に行わせました。

IOC委員となった嘉納は、大日本体育協会 (現在の日本体育協会および日本オリンピック委員会) を創設。日本から初めてのオリンピック参加となる代表選手2人を1912年の第5回ストックホルム大会に送り込んだほか、1940年のオリンピックを東京に招致することに成功しました。残念ながらこの大会は日中戦争の激化により政府が開催の中止を決定、幻のオリンピックとなってしまいました。しかし、嘉納が生涯をかけたオリンピック・ムーブメントと、東京大会実現の精神はいまもオリンピックを愛する日本人の心の中に受け継がれています。

オリンピックと日本編

Q2 日本でオリンピックが開催された都市はどこ?

A 1964年夏季の東京、1972年冬季の札幌、1998年冬季の長野の3都市です。



Kingendai Photo Library / AFLO

東京オリンピックで入場行進をする日本選手団



NIKKAN SPORTS / AFLO

長野オリンピックでは、スピードスケート500mで清水宏保選手が金メダルを獲得した



PHOTO KISHIMOTO

札幌オリンピックの70m級ジャンプで日本勢が表彰台を独占。左から銀メダル・金野昭次、金メダル・笠谷幸生、銅メダル・青地清二の各選手

—東京が2020年のオリンピック・パラリンピック開催都市に立候補した理由を教えてください。

水野 スポーツの力、オリンピックの力を信じているからです。日本はこれまでオリンピックを3回開催してきました。夏季大会は、1964年に東京、冬季大会は1972年の札幌、1998年には長野で行い、いずれも大成功しました。また、残念ながら開催はできませんでしたが、以前は名古屋や大阪も立候補した経験があります。つまり、日本はオリンピックを常に開催したいと考えてきたのです。それは日本人がオリンピックというものが、希望や夢を抱かせる、素晴らしいものだと思っているからです。そこで21世紀という新しい時代に、ぜひ日本で開催したいと考えたのです。

—東京は2016年のオリンピック開催都市にも立候補していましたか、開催都市はリオデジャネイロ（ブラジル）に決まりました。一度失敗したにもかかわらず、なぜもう一度立候補したのですか。

水野 一度失敗したからといって、そのままあきらめてしまうようなことはしたくないと考えました。前回はダメだったかもしれないけれど、私たちの気持ちは変わらない。だからもう一回、チャレンジしようと思ったのです。

—あきらめないのはスポーツの精神そのものですね。

水野 ええ、そうです。例えば、昨年、

2020年 オリンピック・パラリンピック 開催都市に東京が立候補!

インタビュー

水野正人

東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会副理事長／専務理事
(日本オリンピック委員会副会長)



オリンピックを通じて 自分の世界を広げよう

東京は2020年の夏季オリンピック・パラリンピック開催都市として立候補を表明しています。そこで水野正人・東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会専務理事にインタビューし、立候補した理由や、中学生が招致活動に協力できることなどについて聞きました。

Text / 佐藤温夏
Photo / 石橋英生、金城聖子

女子サッカーのワールドカップで日本代表。なでしこジャパンが優勝したね。1戦1戦、勝ち抜いて決勝にたどりつき、アジア勢として初めて頂点に立った彼女たちのあきらめない姿勢は、日本人に大きな勇気と希望を与えてくれました。あの活躍を見て、改めてスポーツの力を実感しました。東京がオリンピック開催都市となれば、そういう感動を身近で味わうことができます。

—東京が開催都市としてふさわしい理由はどこにありそうですか。

水野 東京は約1300万人が暮らす日本の首都で、非常に大きな街です。だからこそ、開催する価値があるのです。東京には交通、安全、医療などの都市機能がそろっています。その上、環境の良さも東京は世界でも有数です。例えば近年では都心から100km離れた富士山が見える日が増えてきているという報告があり、さまざまな努力によって空気の質が良くなってきています。

また、水も強みです。世界では水道から直接水が飲める都市はとて少ないですが、東京はまったく問題なく、蛇口をひねればおいしい飲料水が出てきます。世界は人口が増え、都市への一極集中が進む国が増えています。人口が増えた分だけ、大気汚染や飲料水の不足など、環境面で問題を抱えています。けれども、東京はそうした問題をすでに解決済みで、世界に対しての模範となるような街なのです。

しました。そのことと立候補は関係がありますか。

水野 誤解しないでほしいのは、震災があったから招致するわけではないということです。ただし、私たちが未曾有（みぞつ）の大災害を経験したいま、スポーツの力は日本人の気持ちを強くし、これから頑張っていくぞ、という勇気を与える役割は果たせると考えています。一方で世界に目を向けると、困難に直面している人たちがたくさんあります。昨年はトルコでも大きな地震がありましたし、タイでは大水害が起こりました。このような困難に遭った世界のみならずとスポーツの力で元氣や勇気を共有し、ともに困難を乗り越えていきたいと考えます。オリンピックを開催することにより、そうした私たちのメッセージが世界中に発信されていくはずですよ。

東京オリンピックの 開会式にはワクワクした

—1964年の東京オリンピックを、水野副理事長は観戦されましたか。

水野 はい。私はちょうど大学生でしたので、祖父や父と「オリンピックはできるだけ見に行こう」と話し、開会式から行きました。とにかくワクワクしながら国立競技場に向かったのを覚えています。あのころの開会式は昼間でした。太陽がさんさんと輝くなかでの開会式は、それはそれは素晴らしい



2020年東京オリンピック・パラリンピック招致に情熱を傾ける水野氏（右）。やはり東京招致成功を強く願うアテネ大会の金メダリスト・室伏広治選手と固い握手を交わす

1964年大会の 施設を使って無駄なく開催

—1964年に開催した経験はどのように生かされますか。

水野 国立競技場や代々木第一競技場、東京体育館など、東京オリンピックの際に建設した会場がいくつもあつたのは大きな強みです。これらの会場は

少し手を加えたり、改修すれば使えるものばかりです。オリンピックとは約30競技で同時に世界選手権を行うようなもので、たくさんの会場が必要になります。東京では新たに建設する施設数が少なく抑えられます。また、なるべく選手や役員移動距離を短くし、競技会場には20〜30分ぐらいで到着できるように、都心を中心にコンパクトに開催できるようにします。移動

距離が短いと選手たちの負担が少なくて済みますし、自動車が出す排気ガスも限られます。IOC（国際オリンピック委員会）は21世紀に入り、オリンピックの開催方法を見直す方向で進めており、とくにコンパクトで、お金の掛かりすぎない大会を目指しています。その方針に沿うことができるので

—日本は昨年、東日本大震災を経験

オリンピックからの メッセージ

東京オリンピック・パラリンピック招致活動を応援するオリンピック(オリンピック出場経験者)たちからメッセージが届きました。2020年の東京オリンピック開催に大きな期待を抱く彼らが、未来のオリンピックとなるかもしれない、中学生のみなさんに熱い思いを語っています。

オリンピックというものは、競技ばかり注目されていますが、僕は選手だけがスポットライトを浴びるものではないと考えています。役員などスタッフはもちろん、ボランティアのみなさんも、観戦に訪れる人たちも、みんなオリンピックの参加者です。世界中の人たちが一つの街に集まり、スポーツを楽しみ、交流するのです。オリンピックというのは誰でもエンジョイできる場所。こんなに素晴らしいイベントは他にありません。

僕は10歳のとき、父と一緒に1984年ロサンゼルスオリンピックを観戦に行き、感激したのを昨日のことのように思い出します。観客席では知らない国の人同士が隣合わせになって観戦し、ときに会話をしたりして楽しみました。あの経験は何ものにも代えがたく、僕にとって大切な思い出です。

ですから、2020年に東京で開催されることになったら、ぜひ、多くの人に実際に観戦してほしいと思います。きっと肌で感じるものがあるはずです。

毎年磨いている聖火台

東京で開催されることが決まったら、国立競技場の聖火台も再びクローズアップされることになるかもしれません。実は僕は1964年の東京オリンピックのメイン会場となった国立競技場の聖火台を磨く活動に2009年から参加しています。この聖火台は、東京オリンピック開催にあたり、当時国内最高の鋳物(いもの)職人といわれた川口市(埼玉県)の鈴木萬之助さんが製作を担当したのですが、完



オリンピックは選手だけのものではなく、みんなのもの

室伏広治

むろふし・こうじ ● 2004年アテネオリンピックハンマー投金メダリスト。ロンドンオリンピック日本代表内定選手。オリンピックには2000年シドニー、2008年北京大会にも出場、北京では5位に入賞している。自己ベストは84m86(日本記録)。1974年10月8日、静岡県出身。187cm、99kg。

成間近に割れてしまったショックで寝込み、そのまま亡くなってしまいました。そこで息子の文吾さんが制作を引き継ぎ、東京オリンピック開催まで間に合わせたそうです。その文吾さんは2008年に亡



1964年の東京大会で使用された聖火台。室伏選手はこの聖火台を心をこめて毎年磨いている

PHOTO KISHIMOTO

くなられたのですが、それまで毎年10月に磨いてきたということでした。このことを知ってから僕は、文吾さんの意志を引き継いだ鈴木家のみなさんと毎年磨いていくというわけです。

東京にはこのように先人たちの思いが詰まった伝統があります。2020年に東京でオリンピック開催が決まったら、その伝統も生かされ、さらに若いみなさんとともに次の世代へとつないでいく絶好の機会となると思います。

潮田玲子(バドミントン)

自分を信じて最後までがんばって!

家族や恩師などお世話になった方々に見てもらえることは、ホーム開催ならではのメリットだと思います。オリンピックに出場することは簡単なことではないかも知れません。辛いことや苦しいことがたくさんあると思います。しかし、どんな時も自分を信じて、最後まであきらめずにがんばってください。



1983年9月30日、福岡県出身。北京オリンピックでは小椋久美子と組んだ女子ダブルスでベスト8。

BEM

浜口京子(レスリング)

生まれ育った国でのオリンピックは最高の舞台

生まれ育った日本でオリンピックが開催されることはアスリートにとって最高の舞台になると思います。夢をつかみ感動を分かち合えたいと思います。みなさんがオリンピックに出場して夢をつかむお手伝いができたらうれしく思います。一緒に夢に向かってがんばりましょう!



1978年1月11日、東京都出身。アテネ、北京オリンピックで2大会連続銅メダル獲得。

PHOTO KISHIMOTO

太田雄貴(フェンシング)

オリンピックは、国を背負うということが一番強く感じられる舞台です

オリンピックの地元開催では、今まで自分のかわった人たちに自分のプレーを見てもらえることが幸です。オリンピックは出場するものも簡単ではありません。だからこそ、そこで戦うことはとても幸せなこと、人生の中でも最高の瞬間だと思います。国を背負うということを一番強く感じられる舞台を、ぜひ目指して下さい。



1985年11月25日、滋賀県出身。2008年北京オリンピックで日本フェンシング史上初の銀メダルを獲得。

PHOTO KISHIMOTO

福原 愛(卓球)

中学時代にオリンピックは「夢」から「目標」へ

私は中学生の時、幼い頃の「夢」であったオリンピックは「目標」に変わっていききました。中学生からの8年間は、身体の成長もとても著しく、競技力が大幅に増す大切な時期です。8年後にみなさんが主役となり、オリンピックの舞台で活躍することを楽しみにしています!



1988年11月1日、宮城県出身。アテネ、北京のオリンピックに出場し、ともにベスト16入り。

PHOTO KISHIMOTO



JOCはこんな活動をしています

日本オリンピック委員会(JOC)は、すべての人々にスポーツへの参加をうながし、日本国内におけるオリンピックに関するさまざまな役割を担っています。

次のページからこれらの活動についてご紹介します！



JOCの理念と活動

【理念】

JOCの使命は、すべての人々にスポーツへの参加をうながし、健全な肉体と精神を持つスポーツマンに育て、オリンピック運動を力強く推進することにあります。オリンピックを通じて、人類が共に栄え、文化を高め、世界平和の火を永遠に灯し続けることこそ、JOCの理想です。

【目的】

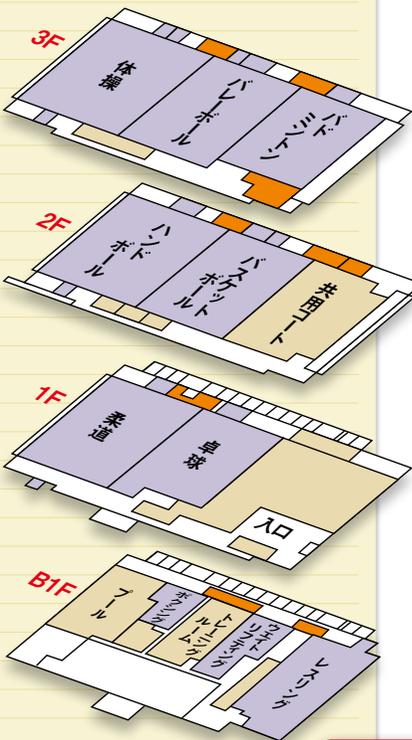
オリンピック憲章に基づく国内オリンピック委員会として、オリンピックの理念にそって、スポーツなどを通じて世界の平和の維持と国際的友好親善、調和のとれた人間性の育成を目的としています。

【活動】

JOCでは、オリンピック競技大会やそれに準ずる国際総合競技大会への選手派遣事業や、オリンピックを知ってもらうための活動＝オリンピック・ムーブメントの推進を目的とした事業を2本柱として活動を展開しています。

味の素トレセンってどんなところ?

味の素トレセンは日本のトップレベルの選手の国際競技力の総合的な向上を図るトレーニング施設です。屋内トレーニングセンター、陸上トレーニング場、屋内テニスコート及び宿泊施設のアスリート・ヴィレッジからなり、選手が集中して強化活動を行うことができます。屋内トレーニングセンターは地下1階、地上3階建て。この中に、現在、10競技の専用練習場や研修室、トレーニングルームが入っており、一般的な体育館が3つ重なっているような建物です。ですから、マンションやビルとは1階ごとの高さが違い、味の素トレセンの3階はビルやマンションの14階ぐらいに相当します。



中学生記者が/ 味の素ナショナル

テニスは大会によってサーフフェスが異なるため、味の素トレセンでは全米オープン(ハード)と全仏オープン(レッドクレー)それぞれのサーフフェスを再現した二種類のコートを用意。れんがを砕いた土であるレッドクレーはヨーロッパにしかないため、なんと輸入しているそう!



上/全米オープンと同じハードコート
下/全仏オープンと同じレッドクレーコート

START トレーニングセンター を探検!

オリンピックなど世界の舞台で活躍する日本のトップアスリートたち。練習の拠点としているのが東京都北区にある味の素ナショナルトレーニングセンター(味の素トレセン)と国立スポーツ科学センター(JISS)です。最新鋭の設備を誇るスゴイ施設ですが、ふだんはJOC指定の強化選手など限られた人しか入れません。今回は特別に中学生記者が潜入! 読者代表として、私立立正中の久保蓮さんと佐藤裕君(ともに1年生)が施設内を探検してきました。

参考/独立行政法人日本スポーツ振興センター
<http://www.naash.go.jp/>

いきなり!
浅見選手!!

オリエンテーション

施設を回るまえにはまず予習。ということで、探検の前に施設の概要を解説したDVDを見ながらレクチャーを受ける。

レクチャーを受けたらさっそく探検へ! まずは柔道場から...



柔道場

1004.5畳の世界最大の柔道場。柱がないのが特徴だ。畳の色は、北京オリンピック前に会場で採用される色に合わせた。畳の下にはスプリングが入っているため衝撃を吸収、ケガを予防する。道場内にはカメラが3台設置され、道場脇にあるモニターですぐに映像のチェックが可能。世界で勝つため、最新鋭の設備となっている。



「すごい、ほんまにだ...」
「こんにちは!」
「何やっつてんの?」

最初に見学を訪れた柔道場では全日本女子チームが強化合宿中! なんとロンドンオリンピックの女子48kg級代表を狙っている。世界チャンピオンの浅見八瑠奈選手を発見。探検隊の2人は柔道部員。これは直接お話を聞かなくては! ということで突撃インタビューをお願いしました。

屋内テニスコート

コートでは2016年リオ・オリンピックで金メダル獲得を狙う若手選手が練習中! 右近畿三ナショナルコートは「そのための選手育成をG-projectと呼び、日本テニス協会あけて強化しているところなんですよ!」



柔道着の素材でできた腕力強化用具を発見。すると昇っていき藤くん。さすが柔道部!



「すごいじゃん!」



最後に記念撮影!
浅見選手、ありがとうございました。



あさみ・はるな 女子柔道選手。柔道の世界選手権48kg級で連覇の現役世界チャンピオン。ロンドンオリンピック日本代表を目指しており、オリンピックに出場すれば金メダル獲得が期待される。1988年、愛媛県出身。152cm、コマツ所属。

女子柔道48kg級世界チャンピオン

直撃インタビュー! 浅見八瑠奈選手

試合は練習してきたことの発表の場...浅見選手



久保 どんな中学生でしたか?
浅見 負けず嫌いの元気な中学生でした。学校も大好きで、鬼ごっこをやって先生に怒られていました。

佐藤 柔道と勉強の両立はできていましたか?
浅見 練習は部活が毎日あって、道場には週に3日行っていました。学校の宿題はあまりなかったけど、テスト勉強はしっかりやりましたよ。

久保 どうしてオリンピックを目指そうと思ったのですか?
浅見 中学時代に谷亮子さん(女子48kg級オリンピック金メダリスト)の試合を見て、カッコいいなと思ってあこがれました。

佐藤 練習でつらいことはありますか?
浅見 練習というのは、つらいものです。それにオリンピックで金メダルを獲得するという目標があるから、つらい練習はあたりまえだし、目標に見合った練習をしなければならぬと思っています。

久保 私は背負い投げが得意なほうなのですが、試合で緊張したり、焦ってしまうとうまく技に入らなかったりします。

浅見 ほごよい緊張は必要だと思います。試合は練習したことを出す発表の場だと考えるといいと思います。試合で負けるのも悔しいけど、練習してきたことを試合で出せなかったときほど悔しいことはない。勝たなきゃという気持ちを持ちすぎず、開き直って試合に臨むのもいいと思います。

佐藤 柔道をやめたいと思ったことはありませんか?
浅見 僕は練習がきついとやめたくなくなっちゃうんですが。

浅見 やめなくなったことはありません。いつも目標があるから、練習がつらくても頑張れるんだと思います。

久保 支えになっている人はいますか?
浅見 やっぱ家族とか、道場、大学、高校の先生方や仲間たち。自分自身は負けても納得することができそうですが、応援してくれるみんながいるから、その期待に応えたいという思いでやっています。

2人 目標の持ち方、立て方を教えてください。
浅見 私は中学校時代の先生に、「小さな目標を持ち、大きな夢を持って」と言われました。だからまずは県大会での優勝から始まり、一つひとつ目標を達成してきたら、いつの間にかオリンピックというところに近づいていきました。2人も身近な目標を達成することから始め、夢に向かって頑張ってください。



体操

天井が高い!

男子6種目、女子4種目のすべての種目の練習を同時に行うことができる。鉄棒やマットなどの用具はオリンピックや世界選手権によって変わる場合があるため、その都度対応。

卓球



試合用のスペースを10面とすることができ、オリンピックや世界選手権など各種国際大会で使用される数種類の卓球台がある。壁面はボールが見分けやすいよう、青色となっている。

ハンドボール



コートは2面。オリンピックと世界選手権で異なる床面が使用されるのでそれに対応している。写真には写っていないが、練習場を二つに区切る巨大な特注カーテンがあり、それぞれの練習場で集中して練習できる。

陸上トレーニング場

屋根つきのトラックがある全天候型の陸上トレーニング場。傾斜のついた走路(傾斜走路)、跳躍場、砂場走路、投てき場などがあり、各種目に対応している。



ボクシング



ラッキーにも体験させてもらうことに!



シンクロナイズドスイミングプール

なんと! 巨大な窓が!

JISS内にある30m×25m、水深3mで、主にシンクロナイズドスイミングのトレーニング場。水中スピーカーや照明などの設備があり、地下にはアクリルの大型観察窓がある。

競泳プール

練習中の動きを観察できる窓が設置されている! まるで水族館状態だ

競泳プールもJISS内にある。50m×8コースあり、水深は可動床によって0~2mまで調節可能。水球競技にも対応できるように設計されている。天井、壁面、プールサイド、水中にはカメラが設置でき、また地下の観察窓から水中動作の撮影もできる。



アスリートヴィレッジ内 SAKURA Dining サクラダイニング

おなかもすいてきたのでランチタイムをとることに。アスリートヴィレッジ内の食堂、サクラダイニングでいただくことになりました。

(ランチタイム!)

アスリートヴィレッジにある食堂。約270席あり、味の素トレセンやJISSで練習している選手が利用できる。buffet方式で好きなものを選んで食べることができるのが特徴。専属の管理栄養士も常駐し、選手の食をサポートしている。



激しい練習のあとは、ゆったりとお風呂に入り快適な部屋で過せる

大浴場(勝湯)

「勝湯(かちのゆ)」という名前がついている大浴場。北京オリンピックの日本人メダリスト全員が利用した縁起のいいお風呂です。サウナやジャグジーもあり、合宿で訪れる外国人選手たちからも人気。

宿泊棟

シングル、ツイン、和室のほか、チーム単位での宿泊も可能なマンションタイプ(リビングを中心に、シングルルーム、トリプルルーム、シャワールーム等で構成)などに448人が宿泊できる。



カフェテリア方式で好きなものをチョイス。栄養バランスが整うよう、和洋中の豊富なメニューがそろう



タンパク質が多すぎた...

意外! カロリーが足りてなかった

選んだメニューを管理栄養士の高橋文子さんがすぐにコンピューターで栄養分析してくれました。2人とも不足している部分があって驚き!

探検終了~!



「グロブがこんなに大きいです!」

久保 蓮さん

「柔道をもっとがんばりたいと思いました。選手ががんばっている姿を見て、自分もと思った。サクラダイニングで栄養分析をしてもらい、今まで栄養のことは意識していなかったのが勉強になりました。まずは、大会で優勝したことがないので、何かの大会で金メダルを取りたいです。」

佐藤 裕くん

「スポーツの見方が変わりました。こういう施設があることも知らなかったし、世界で勝つために裏で支えている人がこんなにいることも、選手たちの努力があることも知りませんでした。自分自身、これから柔道も勉強も頑張っていきたいと思いました。」

約4時間半をかけて探検は終了しました。最初は戸惑い気味の2人でしたが、各練習場では興味津々、真剣に見学していました。探検してみたの感想は?

勉強になりました!



久保さん、佐藤さん、石井先生、おつかれさまでした~!

JOCエリートアカデミー

JOCエリートアカデミーとは、未来のオリンピック選手を目指す中学1年生から高校3年生までのジュニア選手たちが味の素ナショナルトレーニングセンターを拠点に練習し、共同生活をしながら、「競技力」「知的能力」「生活力」を身につけるためのシステムです。現在は卓球、レスリング、フェンシングの3競技団体が、それぞれ競技者育成プログラムのもと選手育成を行っています。

卓球



☆2008年スタート。中学生10（男子6、女子4）、高校生5（男子3、女子2）の計15人が在籍中。

アカデミー卒業後も 社会で役に立つ人間に

卓球のエリートアカデミー生は年々増え、現在在籍しているのは15人。アカデミー内では一番の大手帯となっています。練習は朝練のほか、下校後の午後3時半ごろから9時近くまで行う毎日。消灯時間の11時近くまで自主練習をしている選手もいるそうです。ある選手は「オリンピックを目指すのに一番いい環境だと思ひ、アカデミーに入ることを決めました。学校から帰って、練習して、ごはんを食べて、寝るというハードな毎日ですが、トレーナーの方も来てくれるので身体のケアもできて充実しています」と目をきらきら輝かせて話してくれました。

こうした全国から集まったやる気いっぱい選手たちが日々努力を重ね、これまでに世界ジュニア選手権やユースオリンピックのほか、全日本選手権などでも好成績を挙げています。渡邊隆司コーチによると、今後はより競技力向上に重きを置いているとのこと。ただし、最も大切にしているのは人間性を育てること。「ここで学んだことを生かし、選手としてだけでなく、社会で役立つ人間になってほしい」。渡邊コーチの願いです。

レスリング



☆2008年スタート。中学生6（男子4、女子2）、高校生4（男子1、女子3）の計10人が在籍中。

勉強もあいさつも しっかりやる

全国から集まってきた選手は小学校時代からの経験者がほとんどです。指導方針について、菅芳松日本レスリング協会事務局長代行は「練習を頑張るのは当然のことですが、あいさつなどの礼儀を身につけることが、勉強もしっかりやるように指導しています」と語ります。

実際、学校の成績が良い選手も多いそう。選手は親元を離れ、洗濯などの身の回りのことをすべて自分たちでやりながら練習と勉強に励んでいるのです。ある選手は「最初はホームシックにかかって家に電話したけどすぐに慣れました。アカデミーでは英会話などのプログラムもあり、知らなかったことをたくさん学べるので楽しいです」。

こうした勉強に練習にと励む選手たちの中からは、インターハイや国体などの国内大会だけではなく、世界選手権カデットの部などでも優勝者が誕生、成果を上げています。

練習は基本的に木曜日のみ味の素トレセンを使用し、他は近隣の強豪校へ出掛けこ。外部の選手と実践的な練習を積み、身も心も強い選手の育成を目指しているのです。

フェンシング



☆2009年スタート。中学生8（男子4、女子5）、高校生3（女子のみ）の計11人が在籍中。

全国からタレント発掘。 謙虚さを忘れずに

フェンシングの場合、エリートアカデミー生はナショナルチームの一員という位置付けです。そのため、レスリングや卓球とは異なり、ナショナルチームとともに練習する機会も多いそう。「メダリスト育成のためには世界のスピンドのなかで練習する必要があります。選手にはホンモノのフェンシングに触れてほしいのです」と話すのは和田武真コーチ。こうした育成方針が実現し、昨年のインターハイ女子団体フルレではアカデミー生の所属する高校が見事優勝しました。

興味深いのが選手発掘方法です。フェンシングは小学生の競技経験者は多くはなく、高校生から始める人がほとんどです。そのため他競技で運動能力の高い子どもたちの適性を見たり、福岡県などのタレント発掘事業により見出しスカウト。フェンシング選手としてイチから育成しています。ソフトボール出身の中学生選手は「剣を使うのがすごく面白いです。目標はオリンピックで金メダルを獲ることです」と話しています。

フェンシングに興味があるという中学生の君。まだチャンスがあるかも?!

オリンピックをもっと知ろう!

オリンピック
デーラン喜多方
大会で全員集合

J A P A N E S E O L Y M P I C C O M M I T T E E

日本オリンピック委員会 (JOC) は P.28~32で紹介した選手の強化以外にオリンピック・ムーブメントを広める活動も行っています。(P.19で解説) 本誌「OLYMPIAN」もその1つですがここではオリンピックをもっと知ってもらうためにJOCが主催しているイベントやそのほかの活動についてご紹介します!

あなたも参加できます!



オリンピックデーラン、オリンピックコンサート

※1894年6月23日にクーベルタンの提唱によりオリンピックの復興が決定し、国際オリンピック委員会(IOC)が創設したことを記念する日。第二次世界大戦後の1948年、IOCが同日をオリンピックデーとすることを決めました。

「がんばれ! ニッポン!」を合言葉に開催しました。いずれのイベントも毎年、一般参加者募集を受け付けています。ぜひJOC公式ホームページをチェックして、参加してみてください!

またJOCでは、オリンピックの感動名場面と音楽が融合した「オリンピックコンサート」を毎年開催しています。映像と音楽でよみがえるスポーツの感動をテーマに、オーケストラによるクラシックコンサートと、ステージ上の大画面に流れるオリンピック映像やオリンピックのトークを交えることにより、クラシックファンだけではなく、あなたにもオリンピックの感動がよみがえる演出となっています。2011年は、東日本大震災の復興支援を目的としたチャリティコンサートとして、「がんばれ! ニッポン!」を合言葉に開催しました。

「オリンピックデーラン」は、6月23日のオリンピックデー(※)を記念して全世界で行われていたイベントのひとつです。日本ではJOC主催により、1987年より毎年全国各地で開催。オリンピック(オリンピック出場経験者)と参加者が、誰もが参加しやすい2~4kmのジョギングや各種スポーツ教室、様々なプログラムを通じて、ふれあい、スポーツを楽しみ、オリンピックの基本精神を理解してもらうことを目的としています。



左/オリンピックデーラン長野大会。水泳の中村真衣さんと一緒にジョギングを楽しむ
中/オリンピックデーランひたちなか大会では、福田亜矢子さんが新体操教室を実施
右/2011年のオリンピックコンサートは、東日本大震災の復興支援を目的としたチャリティコンサートとして実施。会場一体になって「がんばれ! ニッポン!」コール

PHOTO KISHIMOTO

オリンピック情報をゲットしよう!

JOCでは、公式ホームページでさまざまな情報を発信中! JOCの活動はもちろん、オリンピックに関する最新情報入手できるほか、オリンピックの歴史や競技についての解説ページもあります。2012年3月には、中学生をはじめとする若い世代のみなさんに、もっと分かりやすくオリンピックを知ってもらうためのページを公開しました。キーワード検索やクイズ、選手からのビデオメッセージなど、いろいろな角度からオリンピックに触れてください。



■日本オリンピック委員会
公式ホームページ
<http://www.joc.or.jp/>

クイズもあるよ!
JOC公式
ホームページへ
GO!

JOC企画スポーツラジオ番組 MY OLYMPIC 放送中!

MY OLYMPIC

日本を代表するトップアスリート・オリンピックが毎週出演するJOC企画スポーツラジオ番組「MY OLYMPIC」が、JFN (JAPAN FM NETWORK) 系FMラジオ局 全国ネットで大好評放送中です! 放送時間は、毎週月~金曜日の午前6時55分からの5分間。毎週、一人のゲストを迎え、オリンピックにまつわるエピソードや、競技への思い、そしてプライベート情報までうかがっていきます。これまでの出演者には、水泳の北島康介選手、レスリングの吉田沙保里選手も。選手の意外な一面を聞くことができるかも!?

選手の
本音が
聞ける!



1 開会式で福原愛選手(卓球)と一緒に灯した「つながる火」(宮城県: 仙台会場) 2 黒木知宏さん(野球)とチーム対抗の綱引き(宮城県: 宮城野会場) 3 閉会後はオリンピックがハイタッチで参加者をお見送り(宮城県: 東松島会場) 4 みんなで競争! 雪上フラッグ(福島県: 猪苗代会場) 5 参加者全員で元気に記念撮影!(宮城県: 仙台会場)



がんばれ!ニッポン!

スポーツから生まれる、笑顔がある。

東日本大震災復興支援 JOC「がんばれ! ニッポン!」プロジェクト スポーツから生まれる、笑顔がある。

2012年2月時点で計11会場で行われました。

JOC「がんばれ!ニッポン!」プロジェクトは、スポーツを通じて笑顔が生まれるよう、今後も継続して様々な支援活動を行ってまいります。詳しくは、JOCの公式ホームページをご覧ください。

2011年10月10日には、宮城県の仙台市と東松島市でのプロジェクトの柱となる「オリンピックデー・フェスタ」がスタート。仙台市の会場には、同市出身の福原愛選手をはじめ、国内外から多くのオリンピックやアスリートが駆けつけ、のべ1300人を超える参加者が、様々なスポーツプログラムを体験し、一緒に汗を流しました。オリンピックデー・フェスタは、その後も被災地を中心に実施を重ね、2012年2月時点で計11会場で行われました。

2011年3月11日の東日本大震災から早くも一年がたちました。JOCでは、東日本大震災復興支援JOC「がんばれ!ニッポン!」プロジェクトを立ち上げ、各地でさまざまな支援活動を実施してきました。

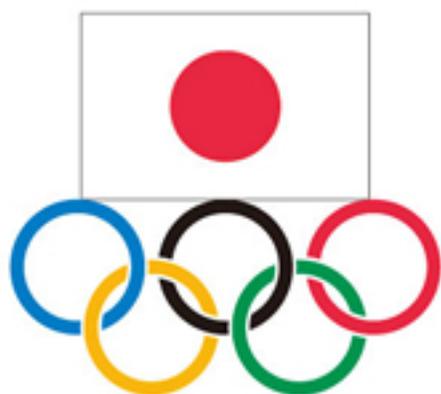
「スポーツから生まれる、笑顔がある。」をスローガンに、オリンピック(オリンピック出場選手)やトップアスリートが「チームジャパン」として結集し、青森、岩手、宮城、福島、茨城の被災地を中心に、地元のみならずとふれあい、一人でも多くの方に笑顔が生まれるよう、支援活動を行うプロジェクトです。



▲参加者のみなさんから贈られた手作りの「ありがとう横断幕」(岩手県: 雫石会場)



▲アテネオリンピック競泳金メダリストの柴田亜衣さんによる講演会(岩手県: 高田高校会場)



がんばれ!ニッポン!

スポーツから生まれる、笑顔がある。

KEIRIN



この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。

<http://ringring-keirin.jp>